

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【中・中等教育学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

生活習慣等に関する調査

自分の回答状況

質問項目の内、さいたま市が重視している10項目を抜粋して掲載しています。

質問項目	さいたま市の回答状況	自分の回答
将来に関する意識		
① 将来の夢や目標をもっている。	%	◎
学校生活		
② 学校に行くのは楽しい。	%	
自尊意識		
③ ものこを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	%	◎
④ 市での生活に満足している。	%	
⑤ 朝食を毎日食べている。	%	
⑥ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。	%	◎
⑦ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	%	
学びに向かう力		
⑧ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。	%	
読書習慣		
⑨ 読書が好き。	%	
キャリア教育		
⑩ 学ぶことや働くことの意義を考えたり、今、だこと、自分の将来とのつながりを考えたりしている。	%	

表の見方

○さいたま市の回答状況
今回のさいたま市学習状況調査「生活習慣等に関する調査」の各質問項目に、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」や「している」「どちらかといえば、している」など）を選択した中学校・中等教育学校第2学年の生徒の割合（%）を示しています。

○自分の回答
自分が、肯定的な回答をした質問項目に◎が表示されています。

調査結果から、自分の生活で直したいと思うことを記入して、今後の生活に生かしましょう。

市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

保護者より

さいたま市教育委員会

令和5年度 さいたま市学習状況調査【中学校・中等教育学校 第2学年】

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）

お子さんの正答数を示しています。

市の平均正答数を示しています。分母は問題数を示しています。※ここでは、国語は、全19問のうち、市の平均正答数は00問であることを示しています。

科目	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/21問
国語				
言葉の特徴や使い方(7問)				自分の正答率 市の平均正答率
書くこと(3問)				正答率 自分 % 市の平均 %
読むこと・聞くこと(4問)				正答率 自分 % 市の平均 %
数学				
領域等				自分の正答率 市の平均正答率
関数(3問)				正答率 自分 % 市の平均 %
社会				
世界と日本の地域構成(3問)				自分の正答率 市の平均正答率
歴史の対話(1問)				正答率 自分 % 市の平均 %
理科				
エネルギー(7問)				自分の正答率 市の平均正答率
生命(7問)				正答率 自分 % 市の平均 %

領域等の正答率を示しています。実線でお子さんの正答率を、点線で市の平均正答率を示しています。

※複数の領域等に含まれる問題があるため、領域等ごとの問題数の合計と出題された問題数は同じにならない場合があります。

- 正答数
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをみるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- 市の平均正答率
さいたま市の生徒が、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- 自分の正答率
あなたが、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。

【令和5年度発行】
さいたま市立教育研究所



さいたま市教育委員会

名前

「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。

「学力に関する調査」の各設問ごとの解答状況等を確認することができます。
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

令和5年度 さいたま市学習状況調査【中学校・中等教育学校 第2学年】

今年度	アドバイス
○	さらに、いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。
×	同じような問題をくり返し解いて、力を伸ばしていきましょう。



調査結果表

2年

名前

国語

さいたま市の生徒が各設問に正答した割合(%)を示しています。
 ○：正答 ×：誤答 △：無解答を示しています。

数学

社会

理科

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
読者の立場から読み取る	1	1			自分の立場や考えが明確になるように、論理の展開など語の構成の工夫について理解しているかどうかをみる。
	1	2			資料を用いて、自分の考えを分かりやすく伝えるための表現の工夫について理解しているかどうかをみる。
	1	3			問題ごとの市の平均正答率を示しています。
	1	4			
読者の立場から読み取る	2	1			なるように工夫することができるかどうかをみる。
	2	2			説明や具体例を加え、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。
	2	3			読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。
	2	4			敬語の働きについて理解し、文章の中で使うことができるかどうかをみる。
読者の立場から読み取る	3	1			目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。
	3	2			文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。
	3	3			目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。
	3	4			接続する語句の役割について理解し、文章の構成を捉えることができるかどうかをみる。
	3	5			文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を探ることができるかどうかをみる。
読者の立場から読み取る	4	1			現代漢字を手掛かりに作品を読みとくことを進めて、そこに描かれている情景を想像することができるかどうかをみる。
	4	2			文脈のきまりを理解しているかどうかをみる。
	4	3			修飾と被修飾との関係について理解しているかどうかをみる。
読者の立場から読み取る	5	1			表現の技法について、その意味や用法とともに理解しているかどうかをみる。
	5	1(1)			文脈に即して漢字を使うことができるかどうかをみる。
	5	1(2)			文脈に即して漢字を使うことができるかどうかをみる。
読者の立場から読み取る	6	1			慣用句の意味を理解し、文章の中で使うことができるかどうかをみる。
	6	2			漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解しているかどうかをみる。

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
読者の立場から読み取る	1	(1)			整式の加法と減法の計算をすることができる。
	1	(2)			一元一次方程式の解の意味を理解している。
	2	(1)			与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる。
	2	(2)			統合的・発展的に考察し、得られた数学的結果を事象に即して解釈することができる。
読者の立場から読み取る	3				連立方程式を解く過程を、事象に即して解釈することができる。
	4				一次関数の式を理解している。
	5	(1)			一次関数の変化の割合の意味を理解している。
	5	(2)			グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。
読者の立場から読み取る	6	(1)			図形の移動を理解している。
	7	(2)			投影図から考えられる立体を判断することができる。
	8				垂線の作図の方法を理解している。
	9				既習の図形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。
読者の立場から読み取る	10	(1)			ヒストグラムから必要な情報を読み取ることができる。
	10	(2)			相対度数、中央値、最頻値の意味を理解している。
	10	(3)			与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる。

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
地球	1	(1)			地球儀を手掛かりに、対照点を判断することができる。
	1	(2)			冷帯の気候の特色を理解し、資料から適切な向洋流を選ぶことができる。
	1	(3)			緯線と経線が直角に交わっている地球上の本初子午線(0度の経線)の位置について理解している。
地球	2	(1)			緯線を基にヨーロッパ州におけるEU加盟国の推移とEU内の経済格差や関係について読み取ることができる。
	2	(2)			複数の資料を基に、ICT産業で活躍するインド人が多い理由について、誤った資料を選択することができる。
	2	(3)			複数の資料を基にブラジルの農業の特徴について読み取ることができる。
地球	3	(1)			資料から白土主義の内容とオセアニア州の移民の特徴を読み取ることができる。
	3	(2)			日本は環太平洋造山帯に属しており、地震や火山の多い不安定な大地上に位置していることを理解している。
	3	(3)			フィリピンを例として南日本は東西の間に、東日本は南北の間に位置していることを理解している。
	3	(4)			我が国が太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを積極的に導入していることを理解している。
地球	4	(1)			我が国の発展に尽くした歴史上の人物について時代の流れと合わせて判断することができる。
	4	(2)			時代の特色を理解し、文化財を判断することができる。
	4	(3)			我が国の大きな歴史の流れを理解するとともに、政治の展開を理解している。
	4	(4)			聖徳太子の政治について理解している。
	4	(5)			江戸時代の「幕府の政治改革」について人物と結びつけて理解している。
	4	(6)			中世の日本の特色について、理解している。
地球	5	(1)			都や幕府が置かれた歴史的に重要な場所について理解している。
	5	(2)			室町文化の特色とその時代の代表的な文化財の組み合わせを正しく選ぶことができる。
	5	(3)			古代から近世にかけて起きた出来事について年代順に並び替えることができる。
	5	(4)			表やグラフを適切に読み取り、江戸時代の政治の特色について理解している。
	5	(5)			
	5	(6)			

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
地球	1	(1)			天気図における基本的な記号(前線)の知識が身に付いている。
	1	(2)			天気図における基本的な記号(天気記号)の知識が身に付いている。
	1	(3)			緯線・経線・気圧の線、気象の線(等圧線)・等温線、気流の向き(気圧傾度)などについて理解している。
地球	2	(1)			雨や曇りなど、大気中の湿度が、気圧・気流の変化により凝結する現象の知識が身に付いている。
	2	(2)			気温と気圧の変化から、気流が発生し、地表でどのような気になるかの知識が身に付いている。
	2	(3)			気団が、発生する場所・気象の性質を日本にもたらすことで、いろいろな気象の変化が起こること思考し判断できる。
地球	3	(1)			消化についてわかる。
	3	(2)			外界からの刺激を受け取る器官の名称がわかる。
	3	(3)			実験1と2の結果から、唾液のはたらきを導くことができる。
	3	(4)			この実験の結果から、消化のはたらきを導くことができる。
地球	4	(1)			実験の結果から、設問の答えを判断する箇所を見出すことができる。
	4	(2)			条件を変えた際、結果が変わる箇所を導くことができる。
	4	(3)			身近な現象を問うことで、状態変化に関する知識や技能を問うことができる。
	4	(4)			実験結果が、考察の根拠として十分か検討し、実験の計画を改善することができる。
地球	5	(1)			実験結果から、マグネシウムと酸化マグネシウムの質量の関係を、正確にグラフに表すことができる。
	5	(2)			実験結果から、マグネシウムと酸素の化合するときの質量比を求めることができる。
	5	(3)			マグネシウムと酸素の反応のモデルでの表し方を理解している。
地球	6	(1)			力の名称(重力・垂直抗力・摩擦)の違いについて理解している。
	6	(2)			2力のつり合いの条件を理解し、その組み合わせを選ぶことができる。
	6	(3)			フックの法則を理解し、力の大きさからばねの伸びを考えることができる。
地球	7	(1)			光の現象(反射・屈折・全反射)の違いについて理解している。
	7	(2)			鏡に映る像の原理を考え、像ができないものを求めることができる。
	7	(3)			光の現象(反射・屈折・全反射)の違いについて理解している。
	7	(4)			実像がスクリーンに映るまでの過程を考えることができる。

国語でがんばりたいこと

数学でがんばりたいこと

社会でがんばりたいこと

理科でがんばりたいこと

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。